

令和7年度寄附講座活動実績報告書

寄附講座名：集学的身体活動賦活法開発講座

所 属 長：三上 靖夫

1 寄附講座の目的

少子高齢化が進む中、疾病構造が変化するとともに必要とされる医療の内容が移り変わってきた。そのため従来とは異なる視点で、疾病・病態・障害を捉えて対処法を編み出す必要に迫られている。重要な視点のひとつが「活動」である。

ヒトの営みの基本である活動に、何らかの原因で支障が出れば、ヒトは自立した文化的な生活を送ることができなくなる。活動のレベルには、日常での活動、家庭での活動、社会での活動などがある。これらの身体活動に関して、賦活法を集学的に開発研究することを目的とする。

2 報告年度に係る取組状況

今年度も 集学的身体活動賦活の観点から、高齢者の身体活動を中心に、運動・栄養・嚥下機能を包括的に捉えた研究を行い、地域高齢者を対象とした調査と、脳卒中患者を対象とした臨床研究についての論文を発表した。

地域在住高齢者の研究では、日常生活の中で身体活動量が多い人ほど筋力や歩行能力、筋量などの身体機能が良好であり、座位時間の長い人ではそれらが低下していることが示された。また、軽い活動への置き換えでも一定の効果が認められ、日常的な身体活動を高める工夫の有用性が確認された。

一方、脳卒中亜急性期の患者を対象とした研究では、食事形態の制限が強いほど栄養状態や筋量が低下し、サルコペニアの発症と関連することが明らかとなった。嚥下障害や摂食制限が、栄養不良を介して身体活動や機能回復を阻害する可能性が示唆された。

これらの成果は、高齢者の活動性を高めるためには、運動だけでなく栄養や嚥下を含む多面的な視点が不可欠であることを示している。今後は、これらの要素を統合した介入を通じて、より効果的な身体活動賦活モデルの構築につなげる。

### 3 報告年度における著書、論文、学会発表、講演、研究助成等の実績

#### <論文>

- Sakurai M, Hishikawa N, Sawada K, Ohashi S, Maeda H, Mikami Y:  
Association between nutritional status and food texture levels in older patients with stroke-related sarcopenia in the subacute phase: a retrospective cross-sectional study. Front Nutr doi: 10.3389/fnut.2025.
- Kubo M, Hishikawa N, Shinjo H, Ohashi S, Sawada K, Matoba S, Mikami Y:  
Physical activity associations with physical function and body composition among community-dwelling older adults in Japan: The Kyotango Longevity Cohort Study. Geriatr Gerontol Int 25: 1511-1517, 2025.

#### <講演>

- 大橋鈴世：PC 持って大集合．あなたの知らないスライド作成テクニック（ワークショップ）．第62回日本リハビリテーション医学会学術集会，京都．2025年6月13日．
- 大橋鈴世：いつでもどこでもストレッチ．京都SKYシニア大学健康長寿コース．京都，2025.2.5.

#### <学会発表>

- 清水直人，奥田求己，菱川法和，森井芙貴子，大橋鈴世，沢田光思郎，三上靖夫：  
血液浄化療法とリハビリテーション治療の併用により失調様歩行が改善したフィッシャー症候群の1例．第62回日本リハビリテーション医学会学術集会．京都．2025年6月13日．
- 瀬尾和弥，久保秀一，井上敦夫，山口正喜，大橋鈴世，新井祐志，三上靖夫：変形性膝関節症に対する Double level osteotomy 前後における歩行解析の1例．第62回日本リハビリテーション医学会学術集会．京都．2025年6月13日．
- 山口正喜，瀬尾和弥，久保秀一，井上敦夫，石田雅史，大橋鈴世，三上靖夫．変形性股関節症患者の歩行分析-大殿筋歩行様の荷重応答期の股関節伸展モーメントに着目して-．第62回日本リハビリテーション医学会学術集会．京都．2025年6月13日．

- 松尾祐香，奥田求己，清水直人，久保秀一，櫻井桃子，大橋鈴世，三上靖夫：歩行訓練支援ロボットでの歩行練習で動作解析を併用した慢性期脳卒中患者 1 症例．第 62 回日本リハビリテーション医学会学術集会．京都．2025 年 6 月 14 日．

※欄内におさまらない場合は枠を広げて記入のこと。

※大学ホームページ等において公表することとなるので、秘密情報については記載しないこと。